

SBL 通信

第21号



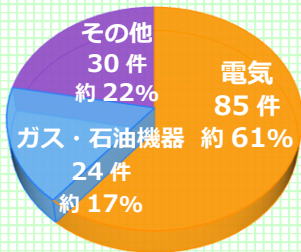
ご存じ
ですか!?

消防局からのお知らせ

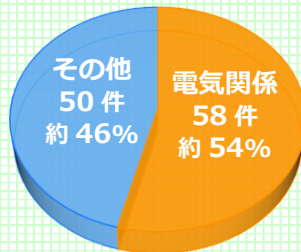
2026年2月発行 仙台市危機管理局減災推進課

地震後の火災 半分以上は 電気 が原因という事実!! 備えましょう!! 感震ブレーカー

阪神・淡路大震災



東日本大震災



【仙台市の火災発生原因(東日本大震災)】

震災に起因した火災	39件 (3件)
地震動に起因した火災	17件 (3件)
電気機器等への物理的作用	14件 (3件)
電力復旧後の通電火災	6件
その他	3件
津波に起因した火災	22件
浸水による車両電気関係	16件
その他	6件

※()内は4月7日の余震で発生した火災

電気が火災を起こす原因は...

- ・倒れた家具の下敷きになって断線した電気コード
- ・電気ストーブの上に落下した洗濯物
- ・ベッドに落ちた電気スタンド
- ・照明の配線が天井裏で損傷 など様々

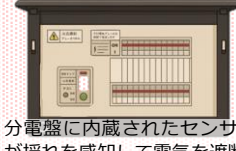


その火災 **感震ブレーカー** が防ぎます!! (効果的です)

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して、電気を自動的に止める自動的に止めてくれる器具 (ブレーカー) です。

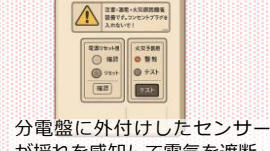
感震ブレーカーの種類

分電盤内蔵型



分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知して電気を遮断。

分電盤後付型



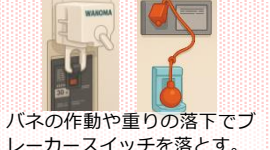
分電盤に外付けしたセンサーが揺れを感知して電気を遮断。

コンセント型



コンセント内蔵のセンサーが揺れを感知して電気を遮断。

簡易型

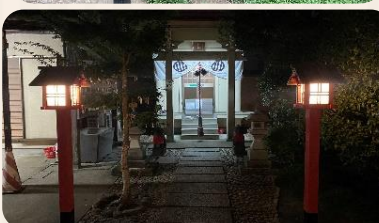


バネの作動や重りの落下でブレーカースイッチを落とす。



■芭蕉の句碑と空襲の記憶
境内には、松尾芭蕉が仙台を訪れた際に詠んだ句碑が佇んでいる。そして昭和20年の仙台大空襲――多くの建物が焼失する中、瀧澤神社の社殿は奇跡的に焼け残った。火防の神の霊験が証明された瞬間として、今も語り継がれている。

■歴史と由緒
瀧澤神社の起源は、仙台藩成立以前にまで遡る。元々は川内瀧澤(現在の亀岡八幡宮)に鎮座していたが、四代藩主・伊達綱村の時代に現在の地へ遷座された。かつて「同心町」と呼ばれたこの地は、城下町の地割に使用した縄を焼却する「清浄の地」だった。縄を焼く地に火を鎮める神を祀る――それは祈りと現世が交差する、仙台ならではの信仰のかたちといえるだろう。



■火防とは何か
「火防(ひぶせ)」とは、火災を未然に防ぎ、炎の災厄から人々の暮らしを守る祈りのかたち。街が木と紙でできていた江戸以前の時代、火事は日常で最大の脅威だった。だからこそ火を鎮める神への信仰は、命を守る切実な願い。瀧澤神社では「瀬織津姫命(セオリツヒメノミコト)」を主祭神として祀り、信仰を今に伝えている。

ちよこつと読み物
火災予防 History
火防の祈り、今もここに
――青葉区・本町 瀧澤神社――
錦町公園のほど近く。ビル谷間にひっそりと佇む朱の鳥居が、通りすがりの目を引く。「火防神社」と呼ばれ、火災を防ぐ神を祀る社として地域の人々に親しまれている。



■現代に息づく火防の祈り――
都会の喧騒から隠れるように、しかし確かな存在感を放つ瀧澤神社。通勤の途中、お昼休みのひと時、夕暮れの帰り道。「火防」の文字をふと目にする人々の心に、祈りは今も息づいている。火防の神は今も変わることなく、私たちの暮らしを見守っているのだ。



瀧澤神社

◎3.11 後の対策

①港工場

製造設備のかさ上げ、設備建屋の扉の密閉度向上などの浸水・冠水防止対策や、設備の流失防止対策などの津波対策。

②バックアップステーションの設置

津波の影響を受けなかった内陸側に「緊急時ガス受け入れ設備（バックアップステーション）」を設置。

供給エリア全域のガス導管圧力、幹線の流量、ガスホルダーの在在及び地震計による情報を 24 時間体制で集中監視しています。

万一の際には、このシステムによってブロック毎に設置している地震計による地震の強度や供給中のガスの圧力などを確認し、その情報をもとに被害の状況を特定し、遠隔遮断などの緊急対応を行うとともに、二次災害を防止します。

他にも巡回点検や通報によって被害が著しいブロックを供給停止します。

防災ブロック別件数(2024.10 現在)

N-1	18,000	C-6	300
N-2	17,000	E-1	16,000
N-3	1,000	E-2	10,000
C-1	36,000	S-1	36,000
C-2	35,000	S-2	7,000
C-3	49,000	S-3	15,000
C-4	17,000	W-1	2,000
C-5	38,000	W-2	5,000



導管ブロック図

お知らせ

99 名の方が SBL の仲間入り！！

先日、SBL 新規養成講習を開催し、99 名の方を新たな SBL として認定しました。



▲災害時給水栓の取り扱い

▲救助訓練の様子

▲傷病者の搬送

SBL の皆様へ 重要なお知らせ

来年度からの、SBL テキスト電子データ(PDF)化についてお知らせします。 同封のリーフレットをご覧ください！



編集後記

最近、職場の同僚から聞かれたことがあります。

「東日本大震災の際、職場はどんな状況だったんですか？」と。どうやら、震災時には入庁していなかったとのこと。神戸市の友人が、「阪神淡路大震災を経験した職員が、市役所にとても少なくなった。」と話していたことを思い出しました。まもなく東日本大震災から 15 年、改めて震災伝承の重要性を再認識した次第です。皆さんの地域でも同様かもしれません。

防災未来フォーラムについて

日時:2026 年 3 月 14 日(土)9:30～16:30

場所:仙台国際センター展示棟、仙臺緑彩館 ほか

東日本大震災の経験や教訓を未来の防災につなぐため、発表やブース展示、体験型プログラムなどを通じて、市民のみなさまが防災を学び、防災活動を深く理解できるイベントです。ステージショーやスタンプラリー、キッチンカーなど、子どもから大人まで楽しめるプログラムが盛りだくさん。

詳しい情報はホームページに順次掲載します。



↓ ホームページはこちら →

<https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2026/>



▲シンポジウム



▲ワークショップの様子

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目 7 番 1 号 仙台市役所本庁舎 2 階 仙台市危機管理局減災推進課

TEL 022-214-3109(直通) FAX 022-214-8096 E メールアドレス : kks000130@city.sendai.jp

皆さんの掲載したい情報や活動などがありましたら、是非ご連絡ください！ 活動報告やご意見・ご相談もお待ちしております！！